

図書館だより

本で世界を広げよう!



令和5年11月
大洲農業高校図書館

10月27日(金)に読書感想文発表会を行いました。読書の秋です。これを機に、図書館へ行って本を借りて読みましょう。今回は、みなさんの感想を紹介します。



〈読書感想文優秀作品の発表〉

○最優秀賞「あの夏の高校球児から学んだこと」2年1組 松田幸音

愛媛の済美高校と石川の星稜高校の野球部のお話です。今回は発表がなかったので、気になる人はぜひ読んでみてください。

『あの夏の正解』
早見和真(新潮社)

○優秀賞「私が出会った一冊の本」2年2組 清水かのん

・誰かを思うことはすごく大切に、変化があることが分かった。友達など自分の身の回り
の人を大切にしようと改めて思った。
・人にはその人の好きなこと、場所がある。この本のようにいきなりそれができなくなるかもしれない
と考えると今好きなことをたくさんして楽しむことが大切だと改めて感じた。

『この夢がさめても、
君のことが好きで、好きで』
小春りん(野いちご文庫)

〈図書委員による朗読劇〉

○『ばけものつかい』

・感情を込めて読んでいて、すごく聞きやすかった。
・落語を取り入れていたので面白かった。
・声のトーンやスピードにも強弱があつてとても面白かった。
・人との助け合いは素敵なものだと感じた。でも全て任せてしまうのはなんだか切ないと思っ
た。人には得意不得意があるから支え合っていければ、素敵な素晴らしい世界が仕上がると
思う。

○『粗忽の使者』

・オチもしっかりしていたし、図書委員の朗読や絵がしっかりしていて面白かった。
・殿様のお尻は大工さんの力でびくともしない頑丈なもので、最後のオチが面白かった。
・一人一人が役になりきっていて、絵はあったけど、より楽しく想像しながら聞いた。
・人の思いやりは大切だと思った。
・お尻をつねって思い出すのは面白いと思った。私も時々忘れることがあるので、つねっ
たら思い出すのかなと思ったりもした。
・少しポンコツなところが面白く、お尻の丈夫さに驚いた。

落語
粗忽の使者

